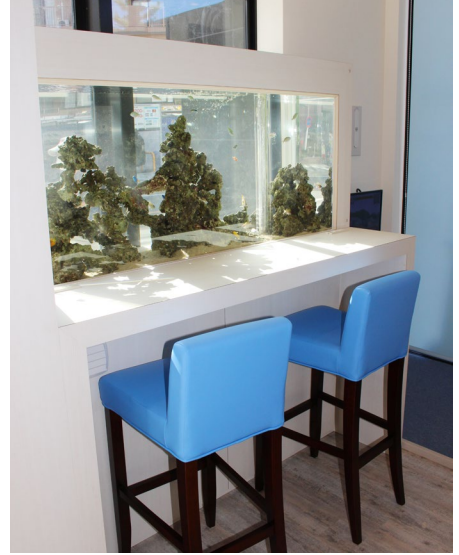




ルミエールデンタルオフィス

神奈川県逗子市逗子 1-9-31 ザ・パークハウス逗子 1F
URL : <https://lumiere-dental.com>



院長

行方 隆博

逗子にある、灯台マークの歯科医院『ルミエールデンタルオフィス』。同院の行方院長は、患者様の「光」になれるような、安心の治療を心がけている。本日は、タレントの野村将希氏が同院を訪問。院長からお話を伺った。

——まずは、行方院長が開業されるまでの歩みから伺います。

『日本大学中学校・高等学校』を卒業し、おじが歯科技工士をしているなど、歯科に興味がありましたから、『日本大学歯学部』に入学しました。卒業後は2つのクリニックで経験を積ませていた

患者様の喜ぶ顔がやりがいに 一人ひとりに合わせた治療を行う

きました、『ルミエールデンタルオフィス』を開業しました。歯科医に成り立てのころに訪問歯科をさせてもらったこともあるのですが、その時に担当した患者様がすごく喜んでくれたことがありました。自分の仕事が誰かのためになる、それが嬉しくて、改めて歯科医になって良かったと思えました。

——院長にとって歯科医は天職だったのでしょうか。ところで、こちらの医院には水槽があって、オシャレですね。

ありがとうございます。私も子どものころそうだったのですが、歯医者に対して不安や恐怖心を持っている方が多くいると思います。ですから、しっかりと治療内容をお伝えし、かつできる限り痛くなく、時には上手く麻酔を活用しながら治療を進めていくことを意識しています。歯医者に行きたいけども、不安などがあって中々行けない、そんな時に患者様たちの「一筋の光」となるように、光という意味を持つ「ルミエール」を院名に込めました。水槽を置いているのも、少しでも皆さんの診察前の不安を和らげることができればと思っただけです。

——強い想いを感じますね。院長が大事にされていることはなんですか。

患者様がどこまで求めておられるのか

を会話から引き出し、そのニーズに合った治療をしていくことでしょうか。利益よりも、患者様に喜んでいただくことが私のやりがいであり、何よりも重視していることですからね。

——本当に患者さん想いでいらっしゃるんですね。どの年代の患者さんが多いのでしょうか。

幅広いですが、比較的に高齢の方が多いですね。患者様に合わせた、会話での言葉遣いやリズムを意識しています。

——最後にこれからの目標をお聞かせ願えますか。

「ルミエールさんに行けば、痛くない治療してもらえるよ」と地域の人々に言ってもらえるようなクリニックにしたいです。そのためにも、患者様一人ひとりに合わせた治療を心がけていきます。

(2020年9月取材)

院長の、「お金以上にやりがいをいただいています」というお話が印象に残っています。優先するのは、利益よりも、患者様の満足度。地域で愛される医院であり続けることでしょうか。



interviewer
野村 将希